

令和 7 年第 2 回錦江町議会定例会一般質問

質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
水口 孝俊	錦江町総合振興計画について	1. 人口ビジョンについて、数値目標として 2029 年に出生数 30 人を掲げているが、達成するためにどのように取組むのか。 2. ゼロカーボンの取組推進の重点課題に、5 年間で町内電力需要の 10%削減とある。公用車の電気自動車切り替えが活動計画に挙げられているが、現在、何台が電気自動車で、給電施設はどの程度あるか。また、公用車の買い替えの基準を伺いたい。 3. 森林伐採が進む中、本町も条例を定め、植樹を執行するようになったが、地主、管理者等、経営管理はうまく進んでいるのか。 4. 林業の成長産業化に積極的に取組み、ドイツ並みの木材需要に誘導支援とあるが、具体的にどういうことか。 5. 公共施設活用のコワーキングスペース、サテライトオフィス提供推進で、神川中学校跡地の実績や最近の状況について伺いたい。 6. 外国人労働者の受け入れ体制や支援の仕組みについて、また、本町で仕事に従事している外国人労働者の仕事内容を伺いたい。	町 長
宿利原洋一	旧宿利原小・中学校跡地のグラウンドの管理・活用について	1. 現在、宿利原中学校跡地の草払いを町より助成金を受けて公民館で年 3 回行っているが、高齢化が進み困難になってきているとの声がある。そこで、この管理作業を町内業者に年間委託できないか。 2. 旧宿利原小学校のグラウンドを芝生管理して、グラウンドゴルフ場に整備できないか。 3. 宿利原地区運動場は草が茂り、活用されていない。そこで、桜などを植付し、芝生を張って憩いの場として活用できないか。	教 育 長
	県道 561 号神之川内之浦線の道路管理について	神川大滝入り口から丸尾間にカズラが茂り、車の通行に支障がある。大隅地域振興局に依頼して、毎年 3 回ほど管理要望できないか。	町 長
城下香代子	国道 269 号線の街路樹の伐根について	国道 269 号線の歩道に植えてある街路樹が数十年の時を経て幹回りも太くなり、信号のない道路から国道へ出るときはかなり見通しが悪い状態である。 町の管理ではないが、死亡事故も発生し、町民の安全な生活が脅かされている状態であり、町民の不満は増大している状況にある。 樹木は県の財産であるが、町民の安心安全な生活	町 長

		を守るため、町の対応を伺いたい。	
	災害に強いまちづくりについて	災害に強いまちづくりのためには、平素から防災訓練や避難訓練のソフト部分、ハード面の整備が不可欠と考えられる。 1. 現在2年に1回、限られた地域での訓練が行われているが、他部署を含めた総合的な訓練を考えられないか。 2. 大規模災害発生時を想定した対策本部の初動体制訓練も必要ではないか。 3. ハード面については、錦江町湾岸道路整備事業の進捗について伺いたい。	町 長
	町民後見人養成について	高齢化がすすむ錦江町では、財産管理だけでなく生活を支える後見人の在り方が求められている。 社会福祉協議会において、町民を対象とした「町民後見人」の養成プログラムを開始できないか。	町 長
小吉 昭弘	有機茶の推進、支援の充実について	1. 令和7年度一番茶の価格及び普通煎茶、有機茶の価格について伺いたい。 2. 過去5年間の煎茶と有機茶の平均価格について伺いたい。 3. 近年、有機茶の評価が高い。田代・大根占で何名の方が取組み、面積はどれだけか。 4. 今後、有機茶への拡大が見込まれるが、茶農家の意気込みはどのようなものか。 5. 有機茶に対してどのような支援策があるか。	町 長
	官民一体でてん茶工場の建設を	世界的抹茶ブームであるが、原料になるてん茶の需要が非常に高い。本町でも、てん茶工場建設に向けて官民ともし組んでいく考えはないか。	町 長
	町道中鳥井線・宮脇交差点の改良工事について	河上神社の道路と鳥井戸方面より上がってくる交差点をはさみ、センターラインがずれている。事故の可能性があり、検討する必要があるのではないか。	町 長
久保 勇太	交通安全に関して	1. 国道269号線ニシムタ前の交差点において事故が多発している。交通安全対策の進捗に関して示されたい。 2. 町民からも早期に安全対策を講じるよう多くの声を頂いており、その一つに定時式の信号機の設置が考えられる。その場合、交通量の多い時間帯は、通行車を旧道に誘導するなど、国道の交通量を一定量に抑えるなどの渋滞緩和策等をとる必要があると考えられる。この例のように、様々な方策が考えられるが、関係機関との具体的な協議は進んでいるのか。 3. 被害を最小化するためには、一刻も早い解決が	町 長

		求められる。当該箇所の今後の交通安全対策の見通しを示されたい。	
	子育て事業に関して	1. 本町は近年出生数が激減しており、本町の持続的な発展のためには、U ターン者を中心とした多くの子育て世代の流入が必要であると考えられる。そのような中、本年度から子育て支援住宅整備事業が開始されるが、具体的な内容を示されたい。 2. 入居対象者は町内居住者なのか、それとも町外からの U,I ターン者を視野に入れているのか。後者の場合、どのようにして子育て世代を呼び込むのか。サテライトオフィス事業、MIRAI サポート協同組合、ローカルベンチャー事業、ワーケーション事業、保育園留学、山村留学事業等、多岐にわたる交流人口・定住人口増加に向けた取り組みを進めてきているが、どの程度の子育て世代が定住したのか、また、今後見込まれるのか。 3. 子育て世代を呼び込む場合、住宅整備と併せて、入居者の就業支援も非常に重要となってくる。既存の事業とどのように連携していく考えなのか。 4. 今後、子育て世代に選ばれる町になるために、本町に必要な取組みは何だと考えるか。	町 長
落司 道子	農業振興について	1. 約2年間にわたり、土壌活性化共同研究事業を進めたが、実証実験の結果はどうだったのか。 2. 今後、環境に配慮した農業を推進していくために、どのように取り組んでいくのか。	町 長
	学校給食について	1. 学校給食における地産地消の取組みは、どういった現状にあるのか。有機農産物の利用について、どのように捉えているのか。 2. 給食費については、給食費は値上げされたものの、保護者負担は変えずに対応している。今後も無償化を図る考えはないのか。	教 育 長
	地域福祉について	高齢者にとってコミュニティの場としてサロン等があるものの、日程等が決まっている状況である。高齢者に関わらず、地域の中に誰もがいつでも利用できるコミュニティの場が必要と考える。そこで、文化センター町民ギャラリーの一部をコミュニティスペースとして活用する考えはないか。	町 長
木下 巧大	学校跡地について	1. 3月をもって大原小、宿利原小、池田小と閉校になり、活用のための実行委員を設けられたが、現在の進捗状況を伺いたい。 2. 池田小学校跡地については、消防詰所、図書館、	教 育 長

		交流の場、農産物選果及び集荷場など色々な案がある。円滑に進めていくために、閉校後、間もない今が前進する時であると考えて。最短でいつ活用できるようになるのか伺いたい。	
	ローカルベンチャー推進事業について	1. 本年度から2名地域おこし協力隊として採用されたが、今後町としてどのような関係性で進めていくのか。また、今までの地域おこし協力隊とは違いがあるのか。 2. この事業の期間として大詰めにかかっているが、手応えとしてどう捉えているか。この先、10年後の展望があれば伺いたい。	町 長
染川 金治	肝属郡医師会立病院建設について	1. 病院再整備基金への元金積立金は、今後どのような計画で積んでいくのか。また、合計でどれ位になるのか。 2. 基金の利用目的の再確認をしたい。 3. 病院の再整備及び運営等に関する覚書(契約書)の病院運営への協力・支援の第9条の削除の件はどのように協議したのか。	町 長
	空き家対策について	宿泊費0円で町内の様々な業種の事業所でアルバイトをしながら旅をしている方々を、空き家で受け入れる考えはないか。	町 長